

◆◆◆会計報告◆◆◆

(2013年10月1日～2014年3月20日)

募金会計		活動費会計	
収入		収入	
一般会費	658,197	活動費寄付	3,900
助成金	0	バザー売上	0
普通利息		ツアー残金	0
雑収入	0	雑収入	0
		小計	3,900
		支出	
小計	658,197	活動費	20,000
支出		印刷費	4,359
支援金	0	文具資料費	0
送金手数料	0	通信費	24,320
小計	0	小計	48,679
前期繰越金	143,428	前期繰越金	93,416
当期収支	658,197	当期収支	44,779
次期繰越金	801,625	次期繰越金	48,637

＜募金の現況＞

今年届いている申請書の総額は、約36,800ドル(370万円)になります。それに対して現在集まっている寄付の額は、約80万円です。

今年は、3月16日に川越教会で寄付のお願いをしました。たくさんの寄付をいただき、ありがとうございます。4月に四谷の聖イグナチオ教会で、5月に関西の教会で寄付をお願いしようと思っています。

これをきっかけに、日本に住むベトナム人の方々に広く、ジャパ・ベトナムの活動を知っていただき、ご理解を得られたら幸いです。

チャオ・ベトナム

J A P A V I E T N A M 会報

NO.47

発行者：ジャパ・ベトナム事務局 発行日：2014年3月27日

◆ベトナムのHIV/AIDS.....1	◆2013年ツアー報告会・講演・演奏会を開催しました.....5
◆ベトナム人留学生のわかちあい.....3	◆寄付者一覧/申請書のお知らせ.....7
◆ジャパベトナムと過ごした貴重なひとときの思い出/ピンフックからのお便り.....4	◆会計報告.....8

ベトナムのHIV/AIDS

ティンバン



JAPA VIETNAM をご支援ください

JAPA VIETNAM にご支援いただくには、以下の三つの方法があります。

- 一般会費 年間1口(2000円)以上
- 賛助会費 金額・時期ともご自由に
- 活動費寄付 活動費の支援(金額自由)

どれになさるかはご自由にお選びください。ご都合に応じてご送金いただければ幸いです。会費をお振込みいただいた方には、振込の半券で領収書とさせていただきます。領収書が必要な方は、振込用紙の通信欄の「口領収書必要」の口にチェックを入れてください。事務費削減にご協力いただけると幸いです。

【ご送金は郵便振替で】
00100-8-118761
JAPA VIETNAM

【銀行をご利用の場合は】
三菱東京UFJ銀行 四谷三丁目支店
東京女子医大出張所
普通預金 3544236
JAPA VIETNAM 代表 安藤勇

紙名『チャオ・ベトナム』について

「チャオ」(chào)とはベトナム語で「こんにちは」という意味です。『チャオ・ベトナム』というタイトルには、ベトナムの人たちと友情のネットワークを築いていきたいという、私たちの願いがこめられています。

ベトナムの未来にあなたの力を

ジャパ・ベトナム (日本ベトナム民間支援グループ)

JAPA VIETNAM

(Japanese group of Private Assistance to VIETNAM)

〒102-0083 東京都千代田区麹町 6-5-1
岐部ホール4階
イエズス会社会司牧センター内

電話 03-5215-1844
FAX 03-5215-1845

e-mail:chao@japa-vietnam.org
http://www.japa-vietnam.org/

ホーチミン市内の数か所のスラム地域で、住民の自立を促し HIV 陽性者を支援する活動を行っている市民グループのリーダーから寄せられたレポートです。AIDS programはこの市民グループの名前、Tinh Than programはAIDS programの中にある小グループの名前です。

ベトナムのHIV/AIDSの現状

2014年まで、ベトナムは20年以上HIV/AIDSに取り組んできた。国際的な援助とたゆまない努力のおかげで、ベトナムは現在までに、見ての通り、HIVの感染爆発を止め感染増加が緩やかになるという成功をおさめたと考えられる。この奇跡は、ARV(抗HIV薬)

の発見とそれによる治療によってもたらされた。このことにより、多くのHIV陽性者は生きられるようになった。彼らは、ARVがなく、たくさんの人が急速に死んでいった以前と比べると、平穩に生きられるようになった。

HIV/AIDSの活動は、人々とりわけHIV陽性者及び麻薬使用者やセックスワーカー、同性愛者などリスクの高い人々の努力を後押しした。AIDSほど人間的要因が関係し、またそれによって勇気づけられてきた病気はほかにない。記録されるべきもう一つの成功は、母子感染を防ぐことが可能になったことである。ベトナムでは、HIV/AIDSに関しては、幸運な成功がもたらされた。

2014年の現在、しかしながら HIV 感染は存在し、ベトナムは海外からの援助が大幅に縮小する状況の中で、感染拡大を克服しなければならなくなった。財源の不足を抱える中で、HIV/AIDS はその克服のための周知の方法を見つけ出さなければならない。これは大きな挑戦である。現在、HIV/AIDS の取り組みは、ディエン・ビエン県やラオ・カイ省など、中心から遠く離れた山岳地帯の感染増加が著しい高地に、集中的に狙いを定めている。その間にも、麻薬と性行為による感染は他のあらゆる場所でも増え続けており、特にベトナム政府によって、新たな計画への挑戦と解決への集中が図られるだろう。

Tinh Than program は現在どんな活動を行っているか。

Aids Program は、財政の乏しい状況で、何年にもわたって HIV/AIDS の活動を続け、経験を積み重ねてきた。Tinh Than program の 5 人のメンバーに、具体的にどんなことをしているのか、話してもらった。

フンさん(男性)：私たちは、ビンタン区と 8 区で、未成年者に性行為による感染を予防する方法について、伝える活動をしています。それを知ることは、未成年者にとって必要な要求であるにもかかわらず、誰も彼らにそれを話してこなかったか、その機会を持ってこなかった。

ミイさん(女性)：私は、ネットで HIV 陽性者同士が交流しあうグループのリーダーです。お互いが助け合っているような活動を行うため、私は友達を作り友情を維持していけるよう最善を尽くします。私はまた、陽性者と支援者が対等に話し合えるグループの活動も行っています。

ロンさん(男性)：私は、過去麻薬使用で関係を持った友達同士でつくったロックグループのリーダーです。私たちはお互いが助け合うため関係を強めようと努力し、特に HIV と麻薬が関係する問題について助言をしています。私にとっては、また毎日の生活のためお金を稼げるよう仕事を探さなければならないという問題もあります。

フエさん(女性)：麻薬使用者や麻薬を使用する子供を持つ家族と一緒に仕事をした経験

のおかげで、私は彼らが麻薬をやめられるよう助けてきました。それはとても大変な仕事です。しかし、若者やその家族に、よりよいカウンセリングを行うために私の経験を生かすことができるので、私はこの仕事をやめるつもりはありません。

スオンさん(女性)：私は今、癌の治療をしています。幸運なことに、私は Tinh Than program から多額の治療費を借りることができました。私には HIV に感染した 2 人の子供がいて、その 1 人は麻薬更生施設に入っています。彼の妻は、家で働いています。私は孫の面倒を見ています。感染した子供の母親は、とても不幸です。

いつも HIV/AIDS に関係したたくさんの人々とともに働きながら、AIDS program は、その力量の範囲で、他の人を助け自分の経験をそのために貢献できるように、活動を維持し組織する方法を見つけ出そうと試みている。

＜注釈＞

- * ヒト免疫不全ウイルス (HIV) に感染した状態を HIV 感染といい、HIV 感染して 5~10 年後免疫が下がることによって発症した状態を AIDS (後天性免疫不全症候群=エイズ) といいます。HIV 感染に関連する問題全般を HIV/AIDS と表記しています。
- * 日本では、エイズ患者第 1 例が報告されたのが 1985 年、抗 HIV 多剤療法が始まったのが 1996 年で、それ以降エイズは死に至る病ではなくなりました。
- * ベトナムでは、1994 年頃からエイズ患者が現れ始め、2005 年から政府は世界銀行から無償資金を得て HIV 予防プロジェクトに乗り出しました。2006 年から国際援助による抗 HIV 薬の無料配布が始まりまると、エイズによる死者は減少し、感染した若者は将来に希望が持てるようになりました。
- * AIDS program はスラム地域で、(注射器を共用した)麻薬使用者を中心にエイズ患者が広がり始めた 1995 年頃からいち早く、予防啓発と感染者の自助グループ作りに取り組み、現在に至っています。ジャバ・ベトナムは 1992 年から現在まで、AIDS program を支援しています。

* ご協力ありがとうございます *

2013 年 10 月 1 日 ~ 2014 年 3 月 20 日までの会費・寄付納入者のお名前です(敬称略)

芦田 敦子	西宮市	島村 晶子	三鷹市	橋本 直樹	横浜市
逸見 裕一	さいたま市	上智大学トリックセンター	千代田区	服部 栄子	豊島区
岩田 瑞枝	川崎市	末吉 偕子	清瀬市	匿名	大田区
江口 一郎	川崎市	須田 俊子	練馬区	樋口 禮治	豊川市
幼き心会	千代田区	聖母訪問会	第二修道院	福井 武	市川市
柏村 忠志	土浦市		鎌倉市	ブー・ビ・イト・トゥアン	横浜市
川越バトナムトリック共同体	川越市	滝戸 玲子	船橋市	ブー・ビ・イト・トゥイット	横浜市
祇園トリック教会	広島市	武市 英雄	相模原市	ブー・ビ・イト・ユン	横浜市
岸 秀雄	鎌倉市	武内 清子	横浜市	ブー・ティ・タム	横浜市
北島 理恵子	新宿区	多勢 三枝子	練馬区	堀井 美枝子	札幌市
グイン・ティ・マイ	横浜市	田山 JESSIE	足立区	宮坂 淑子	さいたま市
グイン・ティ・ラウ・チ	鎌倉市	玉木 邦江	練馬区	村上 光雄	杉並区
倉澤 伸子	大阪市	富原 フーヤ	町田市	森 絵里咲	杉並区
栗梅 華江	広島市	戸村 信子	長崎市	森山 昌樹	豊島区
小池 美恵子	国分寺市	中島 淑子	町田市	宿沢 恵子	板橋区
櫻井 實	つくば市	中嶋 俊之	江戸川区	山本 喜代子	練馬区
佐藤 みどり	練馬区	中野 孝文	川崎市	山本 昌子	杉並区
渋谷 節子	足立区	永吉 一衣	中津市	渡辺 典子	羽曳野市
嶋田 弘志	町田市	根岸 寿	神戸市		
		野本 佳子	新宿区		

◆2014 年申請書が届いています◆

現在、11 団体から申請書が、以下の通り届いています。

- * カオバン省：保健教育、省立病院小児科医療器具
- * ゲアン省ギーロック(新)：診療所建設
- * ダックラック省(新)：少数民族ヤギ飼育
- * ビンフック省：貧しい人の家屋建築 H.C.M.市～
- * Van グループ：HIV/AIDS 患者ケア、スラム地区少額融資
- * ニョム・ティエンボン：HIV/AIDS 患者の薬、栄養
- * スマイルグループ：HIV/AIDS 子供の健康教育
- * タオダン：ストリートチルドレンのケア
- * ソックチャン省バックハイ：医療保険、道路修復
- * ハウザン省フンヒエップ：小学校運営
- * カマウ省：貧しい人の家屋建築

2 団体からは、初めての申請です。

3 月 4 月のスタッフ・ミーティングで、今年支援するプロジェクトと額を検討します。



◆facebook ページを開設しました◆

ジャバ・ベトナムの facebook ページを開設しました。

様々な情報を掲載してまいりますので、ぜひ「JapaVietnam」でご検索のうえ、お立ち寄りください。みなさまのお越しをお待ちしております。

ジャパベトナムと過ごした貴重なひとときの思い出

トラン・マイ・テ・アン

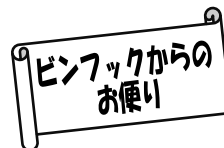
私はアンです。去年8月に JAPA ベトナムの活動に参加させて頂いてもいい思い出に残りました。色々な所へ行ったり色々な人に出会ったりし、自分の視界が広がってきて自分が更に成長できて来ました。一番印象に残ったのはカオバン (Cao Bang) にいた日々です。JAPA ベトナムの最初の時からずっと訪問して来た所です。毎年続いてもう20年になりました。カオバンはベトナムの辺りな地域なので、住民はお金もないし自分の健康を守る知識も分かりません。特にお母さんたちです。自分の赤ちゃんの世話をする知識がないので、元気に育てられないし病気になってどう処置するか分かりません。JAPA ベトナムのおかげで、カオバン病気の

医者さんたちは、お母さんたち向けの勉強会を行ってそういうことを教えてあげました。20年が過ぎて、変わりが出ました。

JAPA ベトナムがあげる一番有意義なのはお金でなくて心です。高年齢にも関わらず20年連続現地に行くのが素晴らしいと思います。本当に感心しています。医者さんたちやカオバンの住民の暑い歓迎を実感して感動しました。

私は JAPA ベトナムの旅に2回参加したが、1回目は通訳者として、今回は参加者として行ってプログラムの有意義さを分かるようになりました。どんな仕事でも心をこめてすれば自分の気持ちが伝えられます。

私を参加される JAPA の皆さんに感謝しています。(原文のまま)



ジャパ・ベトナムの訪問で感じたこと

シスター アンナ・ティン

Binh Phuoc、Phuoc Long、Long Dien 教会の「平和の元后少数民族寄宿舎」で働いて5年になります。毎年の夏、私はいつも喜んでジャパ・ベトナムを出迎えます。1994年から、安藤勇神父様はこのグループと一緒にこちらに来て下さって、私達の寄宿舎の基礎を援助して下さいました。初めはこの寄宿舎に Stieng 族の小さな子供が4人しかいませんでした。施設も何もありませんでした。

1995年の夏に、ジャパ・ベトナムのご援助のおかげで、最初の寄宿舎が開設され、遠い村から Phuoc Binh 中学校および沢山の小学校で勉強する子供たちを受け入れました。いろいろ難しいこともありましたが、この子供たちは生活もできるし、食べ物や泊まる部屋や遊び場所などの心配も減って来て、本当にありがたいです。

20年経ちましたが、ジャパ・ベトナムは私達の教育、農業の発展や子供の成長などについて援助し、共に歩いて下さって

ます。毎夏ジャパ・ベトナムは私達のところを訪れて下さいます。他の人のために働く、困難に勇敢に立ち向かうこのグループの方々の足跡は Long Dien に深く残っています。この方々が本当に神様の道具であり、文化、言葉、環境、社会が違っているけれども、貧しい人々のためにいろいろな困難を乗り越えるという姿を見ると、とても感動しています。

2013年の夏に、私は安藤神父様とシスター Thuy に会って感動しました。このお二人は苦勞が多くて、身体はちょっと弱くなりましたが、心はまだ強く、元気で、そして平安を感じました。ジャパ・ベトナムの方々の愛情と熱意によって、私達も励まされて、自分自身の成長とキリスト教会及び社会の発展のために歩んでいきたいと思ひます。

すべて神の恵みです。神に感謝したいです。天の父よ、私達に援助し、励ましている方々に多くの祝福と平和を与えてください。

◆2013年ツアー報告会・講演・演奏会を開催しました◆

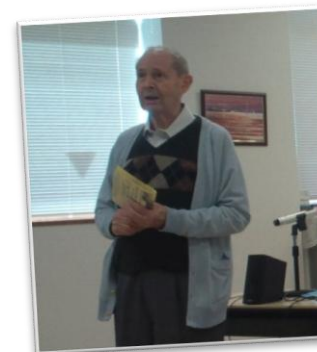
2013年11月23日に岐部ホールで2013年の総会、ツアー報告会及び小栗久美子氏の講演・トルン演奏会が開催されました。祝日の中、約30名の方々のご出席をいただきました。総会では代表安藤勇氏より挨拶、小野浩美氏より2013年の活動・会計報告がされた。2013年のツアー報告は中野孝文氏より各訪問プロジェクト先での写真・ビデオを基に、現状と皆様からの支援金の活用の実績が報告された。

続いて日本のトルン演奏の第一人者である小栗久美子氏の講演と演奏会が行われた。講演では小栗氏の子供時代のマリンバから現在のトルンに至るお話と、トルンというベトナム少数民族の中から出てきた民族楽器に掛ける思いをお話しいただいた。演奏はベトナムの民族音楽は勿論のこと日本の曲も演奏され、トルンの竹筒の持つ自然の柔らかい音色を皆さん堪能されました。

(会計報告、活動報告の詳細はチャオ・ベトナム No.46 も参照ください)



ベトナム人ボランティアさんが描いたかわいいうさぎが「Xin chào!」とお出迎え



代表の安藤勇よりご挨拶



小栗久美子氏による心がこもったトルンの演奏



スタッフの手づくりケーキで懇親会



ご来場・ご協力くださった皆様、ありがとうございます

JAPA Vietnam 支援先訪問ツアー 2013 年夏

(2013 年 8 月 23 日-9 月 6 日)

Cao Bang 省・省立病院小児科
母子保健教育プログラム

Nghe An 省 Hung Trung 村診療所

Binh Phuoc 省
Long Dien 少数民族・子供達の寮

Ho Chi Minh 市

Van Group (スラム住人自立)



Tieng Vong (HIV/AIDS 診療)



私はファン・タン・ユイと申します。ベトナム人です。大学で教えていましたが、三年前に、博士号をとるために日本に参りました。日本に行く直前、東日本大震災があり、そして、福島原発事故が起こって、日本はもう終わると思って心配しました。しかし、そういう大変な状況の中で、日本人皆は心を合わせて日本の復興を目指して頑張りました。このことは世界中の人々が本当に感動しました。私は、そのような日本人の姿を見て、日本に行く不安な気持ちがなくなりました。この短い記事の中で私の目で見た日本のことと、日本とベトナムの交流について分かち合いたいと思います。

まず、日本人は熱心に仕事をやるのが凄いです。皆、時間をきちんと守る、仕事のためにちゃんと計画を立てます。私は何度も夜遅くまで働いている日本人の姿を見ました。通っている研究所でも多くの研究者は徹夜で研究するのは珍しくないです。更に、日本人は組織的な民族だと感じます。このことは仕事やイベントなどを通じて見られます。何でも、最初から最後までうまくできるように皆で協力するからです。そういう性格を持っている日本人のみなさんのおかげで、社会がうまく動いていると思います。

日本とベトナムの交流は昔から続いています。十六世紀、十七世紀から日本人の商人がベトナムまで行って商売しました。彼らは、ベトナムの中部のある町を作りました。この町には今でも和風の建築が残っています。ベトナム人の目で見ると、日本人は信頼できる友人、あるいは、模範的ないい兄弟です。二十世紀の頭、ファン・ボイ・チャウ氏はベトナムの改革を考えて多くの若者を、日本まで勉強させるために送りました。その時も、ファン・ボイ・チャウ氏のグループのために、日本人が何人か凄く頑張ってくれました。

しかし、日本とベトナムの交流は悪化した時期もありました。1945年、日本軍隊はベトナムに来て、ベトナムを植民地にしてしまいました。短い期間でしたが、日本軍隊はベ

トナムを支配したため、その時代のベトナム人には、日本はあまりよくない印象を残してきました。最近、両国の交流がだんだん良くなっていくとみられています。ベトナムで日本がとて人気になっています。日本の文化、日本での仕事や勉強などベトナム人の若者の中に流行っています。ベトナムの経済は1986年からドイモイという政策のもとで発展していくと考えられました。しかし、この発展は地域によって差が拡大しました。大きな都市部では会社(企業)の数が多いので豊かになってきました。しかし、小さな町や田舎ではまだ遅れています。最近、政府やNGOなどはこの貧富の格差を狭めるように努力していますが、なかなかできないと思います。貧しい人々はまだまだ大変な生活をしています。特に、女性と子供たちにはこの貧困の影響が大きいです。今、彼らは大変な環境の中で生活していて、将来も見えない状態です。教育が進んでいないからです。

私は数年前から貧困について研究するためにベトナムの中部と南部を何度も訪問しました。印象的だったのは少数民族の人々が一番大変な生活をしているのが分かったことでした。彼らは自分の子どもの生活のために大きな町に出かけて、日雇いの仕事をし、金持ちの家庭で奴隷のように働きます。したがって、子供の教育の面倒をみることができなくなります。この周辺に住んでいる子供たちは学校に通うことがとても難しいです。なぜなら、毎日の生活のためのお金さえ足りないのに、学校に行くことは考えられないのです。

最近、ベトナム政府は貧困を解決することに注意を払うようになってきました。また、海外のNGO、NPOなどの支援によって、貧しい人々の生活はだんだん良くなっていくと見られています。しかし、今でもまだ、ベトナムでは健康教育や学校教育など生活のための基盤がとても遅れています。なので、私はもしできれば、そういう基本的なところに皆さんからの支援を頂ければ役に立つと思います。

ツアー報告会の資料